

ルーマニア



ペレシュ城 初代ルーマニア国王となったカロル1世が、1875年にルーマニア王室の夏の離宮としてシナイア渓谷に建てた城がペレシュ城。ルーマニアの数ある城の中でも際立った壮麗さを持ち、また周囲の大自然と見事に調和した姿も美しさの所以です。

ブルサナの修道院



マラムレシュ地方 ルーマニア・ゴシックとも呼ばれる高い尖塔を持つ木造りの教会が村の中心に聳えています。昔ながらの生活や文化を守り続ける人々の暮らしが今も色濃く残り、さながら民族博物館のようです。



サプンツァの陽気な墓 マラムレシュ地方の小村サプンツァ村の墓は、青い墓標に赤や黄色の花模様飾られ、故人の生前の生活や職業、嗜好品などを、ユニークな彫刻として木製の墓標に施しています。



ブコヴィナ地方の5つの僧院 16世紀に栄えたモルドバ公国の文化の象徴ともいえる僧院群。オスマン朝のもとで自治権を与えられルーマニア中世文化が開花した場所です。いつれの僧院の外壁には、聖人の肖像画や聖書の一場面が色鮮やかに描かれたフレスコ画が施されており、世界遺産に指定されています。

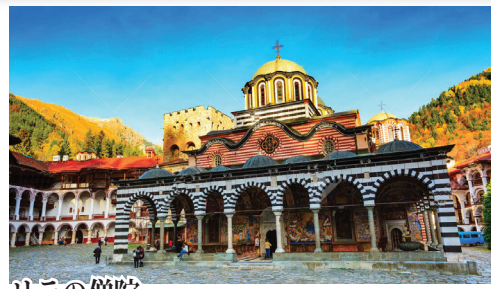


シギショアラ トランシルバニア地方に位置するドイツ系移民が作った町で、時計塔を中心に中世の面影を残した美しい家々が並びます。その歴史的な町並みは世界遺産に指定されています。

秋のルーマニア、ブルガリアとモルドバ共和国 17日間

旅行期間：10月15日（水）～10月31日（金）

旅行代金：729,000円



リラの僧院 ブルガリア人の魂の拠り所と言われるブルガリア正教会の総本山。10世紀、修道士イバン＝リルスキにより創設。12～14世紀、第二次ブルガリア帝国の皇帝の支援を受け、ブルガリにおける精神的・文化的中心地となりました。オスマン帝国支配下では、キリスト教信仰を制限されつつも、リラの僧院だけは修道院としての活動が黙認されていました。1833年の大火により大半を焼失しましたが、19世紀後半には見事に再建されました。



リラ山脈の奥地にひっそりと佇むリラの僧院



美しいフレスコ画が並ぶ僧院内

ブルガリア



黒海沿岸ネセバル 紀元前千年には、既にトラキア人が居住していた黒海の古代都市。細い道で本土と繋がるこの島は、その立地から交易の拠点として栄えてきました。歴史的建造物が並ぶ美しい街並みの散策をお楽しみ下さい。



町自体が美術館と讃えられるコプリフシツィア

モルドバ

ウクライナとルーマニアに囲まれた内陸国。1991年に旧ソ連から独立。面積は3万3,843km²（九州より少し小さい）。人口は259.7万人で、モルドバ（ルーマニア系）人が75%以上を占めるほか、ウクライナ人、ロシア人、ガガウズ（トルコ系）人も暮らしています。公用語はモルドバ語（ルーマニア語とほぼ同じ）。宗教はキリスト教（モルドバ正教）などです。手つかずの自然と温かな人々、世界有数のワインセラーが魅力の国。素朴な文化と歴史が息づく、ヨーロッパの隠れた宝石と讃えられます。



キシノウ大聖堂と鐘樓



ミレスチ・ミチ・ワイナリー 世界最大のワインセラーで、200万本という膨大な貯蔵数を誇り、2006年にギネスブックに登録されました。

《写真は全てイメージです》

旅行企画・実施

株式会社 旅のデザインルーム

黄葉の季節限定・特別企画	
旅行期間	10月15日(水)～10月31日(金)
旅行代金	729,000円
一人部屋利用追加代金	106,000円

- ◎利用航空会社：ターキッシュエアラインズ。
- ◎添乗員：羽田空港より全行程同行します。
- ◎食事：朝食14回・昼食14回・夕食14回(機内食除く)
- ◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくはお問い合わせ下さい。
- ◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
- ◎最少催行人員：10名(最大20名)
- ◎旅券残存有効期間：帰国時3カ月以上
- ◎旅券査証欄余白：見開き1カ所含む計3頁以上
- ◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆
- ◎羽田空港使用料・保安サービス料：3,050円
- ◎国際観光旅客税：1,000円
- ◎燃油サーチャージ目安：72,000円(2025年4月現在)

◆コースのポイント◆

- ◇手つかずの自然と温かな人々、世界有数のワインセラーが魅力の国・モルドバも訪問。素朴な文化と歴史が息づく、ヨーロッパの隠れた宝石と讃えられます。
- ◇ルーマニアでは、ドラキュラ伯の居城であるブラン城やシギショアラがあるトランシルバニア地方、昔ながらの生活が今に残るマラムレシュ地方、世界遺産の5つの修道院群があるブコヴィナ地方と地方独自の個性的な町や村を丹念に訪れます。
- ◇ブルガリアでは、黒海沿岸のネセバルの歴史都市から謎のマダラ高原の騎士像、14世紀以来のブルガリア文化の源流を伝えるブルガリア正教の総本山・リラの僧院、そして正教芸術の粋を極めるパチコヴォ僧院、ボヤナ教会まで丹念にご覧いただけます。



国民の館／ブカレスト



※ブルガリアに渡航の際、海外旅行保険の加入及び保険証券の携帯が義務付けられています。詳しくはお問合せ下さい。
※黄葉の時期は前後する場合もございます。予めお含み下さい。

●旅行条件(要約) この書面は旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認の上でお申し込み下さい。
●この旅行は、株式会社旅のデザインルームが企画・実施する旅行であり、お客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行取引条件及び旅行条件(全文)、ご出発前にお渡しする最終日程表(確定書面)によります。
●旅行代金に含まれるもの：旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料金、観光料金(バス料金・ガイド料金・入場料)、宿泊料金(二名一室を基準)及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。
●旅行代金に含まれないもの：上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を明示します。超過手荷物料金、一人部屋利用の場合の追加料金、希望のみ参加されるオプション・ツアーの料金、渡航手続関係諸費用(旅券印紙代、手続代行料金など)、日本国内の空港施設使用料、保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代、電報電話料金、ホテルのプライベートメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

都市名	スケジュール
1 東京	■夜(21:45)、羽田空港より、空路、イスタンブール乗り継ぎ、モルドバ共和国の首都キシノウへ。 (機中泊) ☐ ☐ ☐
2 キシノウ (ミレスチ・ミチ)	■午前、キシノウ着。着後、キシノウ市内観光。キシノウ大聖堂○、勝利の門○、歴史博物館○、青空市場○などにご案内します。 ■午後、郊外にあるミレスチ・ミチ・ワイナリー○を訪問。世界最大のワイン貯蔵庫○やワインの試飲などをお楽しみ下さい。 (キシノウ泊) ☐ ☐ ☐
3 キシノウ滞在	■終日、キシノウ郊外、旧オルヘイの洞窟修道院○とモルドバで最も美しい修道院のひとつといわれるクルチ修道院○を見学します。 (キシノウ泊) ☐ ☐ ☐
4 キシノウ (ヤシ) グラ・フモール	■午前、国境を越え、ルーマニアに入国。かつてのモルドバ公国の首都ヤシへ。 ■午後、ヤシ市内観光。文化宮殿(歴史博物館)○、三聖人教会○など。観光後、グラ・フモールへ。 (グラ・フモール泊) ☐ ☐ ☐
5 グラ・フモール滞在	■終日、ブコヴィナ地方の人里離れた山奥にある5つの僧院○(世界遺産①)をたっぷりご覧いただきます。 (グラ・フモール泊) ☐ ☐ ☐
6 グラ・フモール(マラムレシュ地方) (サブンツァ) バイア・マーレ	■午前、マラムレシュ地方へ。 ■着後、世界遺産②マラムレシュ地方の小村の観光。ブルサナの修道院○と木造教会○、イエウドの木造教会○をご案内いたします。その後、墓標にユーモラスな彫刻を施し、絵を見るだけでも楽しいサブンツァ村の「陽気な墓」○に立ち寄り、バイア・マーレへ。 (バイア・マーレ泊) ☐ ☐ ☐
7 バイア・マーレ(クルージュ・ナボカ) シギショアラ	■午前、クルージュ・ナボカ○に立ち寄った後、シギショアラへ向かいます。 ■午後、シギショアラ(世界遺産③)の観光。町のシンボルの14世紀の時計塔○、ドラキュラのモデルになった息子の生家ヴラド・ドラクルの家○へご案内します。 (シギショアラまたは近郊泊) ☐ ☐ ☐
8 シギショアラ(サスキス) ブラショフ	■午前、サスキス要塞教会○(世界遺産④)に立ち寄り、古都ブラショフへ。 ■午後、ブラショフ市内観光。町の中心に立つ黒の教会○、聖ニコラエ教会○など。 (ブラショフ泊) ☐ ☐ ☐
9 ブラショフ(ブラン城) (ルシュ城) (ツァイバール) ブカレスト	■午前、中世の城壁の姿そのままを残すドラキュラ伯の居城ブラン城○を見学。その後、「カルパチアの真珠」と呼ばれる景勝地シニアへ。 ■午後、ルーマニア王室の夏の離宮として築かれたペレシュ城○とシナイア僧院○を見学。その後、首都ブカレストへ。 (ブカレスト泊) ☐ ☐ ☐
10 ブカレスト(イヴァノヴォ) ラズグラド	■午前、ブカレスト市内観光。凱旋門△、国民の館○(急遽閉館の場合もあり)、3つのドームをもつ大主教教会○など。 ■午後、国境を越えブルガリアに入国。世界遺産⑤イヴァノヴォの岩窟教会群○に立ち寄り、ラズグラドへ。 (ラズグラド泊) ☐ ☐ ☐
11 ラズグラド(マダラの騎士像) ヴァルナ	■午前、断崖に彫られた謎のマダラの騎士像○(世界遺産⑥)に立ち寄った後、同国第3の都市ヴァルナへ。 ■午後、ヴァルナ市内観光。考古学博物館○、ローマ浴場跡○、大聖堂○にご案内します。 (ヴァルナ泊) ☐ ☐ ☐
12 ヴァルナ(ネセバル歴史都市) カザンラク	■午前、ネセバルの歴史都市(世界遺産⑦)の観光。聖ソフィア教会○、華麗な装飾が施されたパントクラトル教会○、世界遺産の街並み○など。 ■観光後、バラの谷で知られるカザンラクへ。 (カザンラク泊) ☐ ☐ ☐
13 カザンラク滞在(アルバナシ村) (ヴェリコ・タルノヴォ)	■午前、アルバナシ村○のフレスコ画が見事なキリスト生誕教会○を見学。また、ヴェリコ・タルノヴォの旧市街○の散策とツアレヴェツの丘○へご案内します。 ■午後、カザンラクの観光。世界遺産⑧トラキア人の古墳(レプリカ)○、バラ博物館(ローズオイル蒸留所)○など。 (カザンラク泊) ☐ ☐ ☐
14 カザンラク(プロブディフ) (パチコヴォ僧院) (ボヤナ教会) ソフィア	■午前、プロブディフへ。着後、プロブディフ市内観光。ローマ劇場跡○、聖コンスタンティン・エレナ教会○にご案内します。また、芸術性においてリラの僧院に次ぐといわれるパチコヴォ僧院○を見学。 ■観光後、ソフィアへ。途中、ソフィア近郊の見事なフレスコ画で有名なボヤナ教会○(世界遺産⑨)を見学します。 (ソフィア泊) ☐ ☐ ☐
15 ソフィア滞在(リラの僧院)	■午前、14世紀以来のブルガリア文化の源流を伝えていると云われるリラの僧院(世界遺産⑩)○を見学。リラの歴史博物館○にもご案内します。 ■午後、ソフィア市内観光。聖ネデリヤ教会○、黄金のドームが象徴的なアレクサンドル・ネフスキー寺院○、ヨーロッパ最大のイコン・コレクションを誇るイコン博物館○などをご案内いたします。 (ソフィア泊) ☐ ☐ ☐
16 (コプリフシツィツァ) ソフィア	■午前、自由行動。 ■午後、民族復興時代の特色を残す美しい村コプリフシツィツァ○を訪問。 ■夜、空路、イスタンブール乗り継ぎ、帰国の途へ。 (機内泊) ☐ ☐ ☐
17 東京	■夜(19:45)、羽田空港着。通関後、解散。

旅行解除期日	旅行代金	取消料(お一人)
ピーク時の旅行(41日前までは不要)		旅行代金の10% (限度額5万円)
●40日前から31日前までの取消	30万円以上	50,000円
その他の期間の旅行(31日前迄不要)	15万円以上	30,000円
	30万円未満	30,000円
	15万円未満	20,000円
以下は全ての旅行に適用		
●20日前から3日前までの取消		旅行代金の20%
●前日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

●「ピーク時」とは12/20～1/7、4/27～5/6及び7/20～8/31をいいます。
●取消料の対象なお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金(一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など)の合計額です。

●お一人でご参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、一人部屋利用追加代金の半額にて、お一人部屋をご利用いただけます。但し、ご出発日の60日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方は、禁煙・喫煙、同年代などのご希望には添えません。また、お申込後、「相部屋→一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。
●日程中のマークの見方
☐：朝食、☐：昼食、☐：夕食、☐：機内食、☐：食事なし
◎：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光
●海外渡航関連情報について
訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。
・外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>
・厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>
●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2025年4月5日を基準としております。また旅行代金は2025年4月5日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。
●旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。担当者からの説明にご不明な点がございましたら、遠慮なく下記、旅行業務取扱管理者までご質問下さい。